

「気になる子ども」に対する支援・配慮の調査

～市内保育所に対するアンケート調査より～

西澤 直子
(山陽学園短期大学)

＜Ⅰ.研究目的＞

統合保育等の意識の高まりに伴って障害児の実態把握は充実しつつあるが、近年問題視されている「気になる子ども」の統計的研究はあまりなされていない。

そこで我々は、今後の保育・福祉行政及び保育者研修の方向性を探る為の基礎研究として、広島県福山市の協力を得て「気になる」といわれている子どもに関する質問紙調査を行った。今回はその調査結果について、保育士が必要と考えている特別な支援・配慮の内容とその実施状況に主に注目して分析する。

＜Ⅱ.方法＞

調査対象：広島県福山市の認可保育所

調査期間：2002年5月から6月

調査方法：1次調査で調査協力の可否を確認。協力可能な保育所に対して2次調査への回答を要請。

調査内容：回答者の基礎情報、「気になる子ども」の基礎情報、「気になる」内容、必要と思う支援・配慮の内容と実際に行っている内容

＜Ⅲ.結果＞

保育士がどのような特別な支援・配慮を必要と感じているかまとめたものが図1・表2である。「障害・発達等について気になる」子どもの場合、全ての支援に高い必要性を感じている事が分かる。特に「専門機関への相談」は8割以上の保育士が必要だと感じており、「保育者の研修」「加配」も他の場合と較べて高い値である。また、「気になる点」を問わず「保護者への支援」を必要と考える保育士が多く、次いで「個別指導」「集団内での配慮」が多い事が分かる。

また必要と感じている支援・配慮の「実施率」を、「気になる」内容ごとに捉えて全体的な実施率と比較し、母比率の検定を行ったものが表3である。支援の実施率が有意に低いのは「家族の養育態度について気になる」場合、「基本的生活習慣について気になる」場合、「そのほかに気になる」場合に偏っている事が分かる。

次に、支援の実施率を公立保育所と法人立保育所で比較したのが図2である。「気になる点」に関わらず、「専門保育士への相談」「保護者への支援」「加配」「環境整備」は公立の実施率が高く、逆に「個別指導」は法人立が高い傾向があった。しかし法人立は回答数が少なかったため、統計的な有意性は不明である。

＜Ⅳ.考察＞

「障害・発達等について気になる」場合、即ち保育者が子どもの状態を障害や発達のな問題であると認識した場合に、特別な支援・配慮を最も必要と感じていることが伺える。しかし中でも一番必要性の高い「専門機関への相談」の実施率は64.9%しかなく、同様に「保育者の研修」も44.9%しか実施されてない。障害・発達等の専門的相談については、福山市では障害児者地域療育等支援事業としての巡回相談が行われているが、その充実や、子どもの障害や発達に関する研修のニーズが高いことが推察される。

また「家族の養育態度について気になる」場合や「基本的生活習慣について気になる」場合に支援の実施率が低いのは、①家族支援を行う時間的確保が難しい、②アプローチの方向が難しい、③家庭生活と深く関わるので問題として取り上げるべきかどうか判断しづらいなどの要因が考えられるのではないかと推察される。家族の養育態度についての支援は、2003年から保育士養成において「家族援助論」が必修科目となったばかりで、現職の保育士はその意義や方法について十分学ぶ機会がなかったこともあり、家族援助の為の条件作り、支援方法の検討、保育士への研修などが、今後の課題として明確になったと考えることができるであろう。また「そのほかに気になる」場合に実施率が低いのも、どこが問題なのかが掴みづらいため具体的な支援に結びつきにくいのではないかと推察される。これは今後「気になる点」の自由記述を分析して確認していく予定である。

他方、高い必要性のある支援の中でも「保護者への支援」「個別指導」「集団内での配慮」は全般的に実施率も高い。現場に近い部分で保育士自らが行える支援に関しては比較的实施しやすいのではないかと考えられる。今後はその内容についても、研修などを通して実践的な吟味が必要な課題になると思われる。

経験の浅い保育士ほど「気になる子ども」への支援に迷いがあるのではないかとという結果もあり（西澤ら,2003）、適切な支援を行える知識と経験をもつ保育士を育成するために、支援システム及び研修システムの構築が不可欠であると考えられる。

＜Ⅴ.文献＞

金田利子・今泉依子・青木瞳（2000）：集団保育にお

いて「気になる」といわれている子の実態と対応。日本
特殊教育学会第38回大会発表論文集 387

西澤直子・上田征三・高橋実(2003):保育所における「気
になる子ども」の実態と支援の課題(1)―市内保育所の実態調
査から― 日本特殊教育学会第41回大会発表論文集 745
高橋実・上田征三・西澤直子(2003):保育所におけ
る「気になる子ども」の実態と支援の課題(2)―保育
士が「気になる」とする子どもの状況の分析― 日本
特殊教育学会第41回大会発表論文集 746

表1:基礎情報

	合計	公立	法人立
市内保育所数	98	61	37
回答施設数	76	60	16
回収率	78%	98%	43%
回答施設の定員	6280	4755	1525
回答施設の在籍者数	5470	4766	1704
「気になる」と回答された子どもの数 (実対象者数/在籍者数)	780	695	85
	103.0%	100.2%	111.7%
女児	224	200	24
(女児/在籍者数)	35%	4.2%	14%
男児	552	491	61
(男児/在籍者数)	8.5%	10.3%	3.6%
無記入	4	4	0
(男児/在籍者数)	0.1%	0.1%	0.0%

(西澤ら2003)

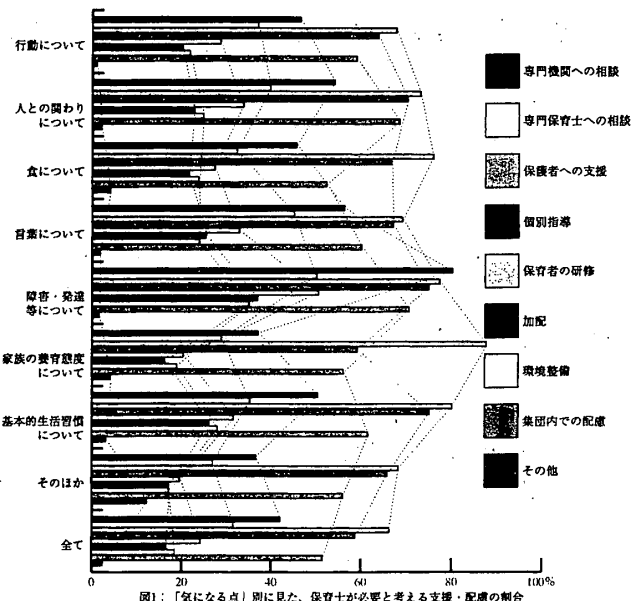


表2:「気になる点」別に見た、保育士が必要と考える支援・配慮の割合

	専門機関への相談	専門保育士への相談	保護者への支援	個別指導	保育者の研修	加配	環境整備	集団内での配慮	その他
行動について	46.4%	36.9%	67.7%	28.6%	20.0%	21.6%	58.9%	1.0%	1.0%
人との関わりについて	54.0%	39.6%	73.0%	70.2%	33.7%	22.6%	24.7%	68.4%	2.1%
食について	45.5%	32.1%	75.9%	66.5%	27.2%	21.4%	23.7%	52.2%	4.0%
言葉について	56.3%	44.9%	69.0%	67.0%	32.7%	25.3%	23.8%	60.1%	1.8%
障害・発達等について	80.2%	50.0%	77.4%	75.0%	50.4%	36.9%	34.9%	70.6%	1.6%
家族の養育態度について	37.0%	28.8%	87.7%	59.2%	20.2%	16.1%	18.8%	56.2%	4.1%
基本的な生活習慣について	50.5%	35.1%	80.2%	75.2%	31.5%	26.1%	27.9%	61.7%	3.2%
その他	36.6%	26.8%	68.3%	65.9%	19.5%	17.1%	17.1%	56.1%	12.2%
全体	42.1%	31.5%	66.3%	58.7%	24.2%	16.5%	18.5%	51.5%	2.4%

表3:「気になる点」別に見た、特別な支援・配慮の実施率(全体的な実施率との比較)

行動について	専門機関への相談	専門保育士への相談	保護者への支援	個別指導	保育者の研修	加配	環境整備	集団内での配慮	その他
専門機関への相談	59.0%								
専門保育士への相談	50.0%	P<0.005							
保護者への支援	78.9%								
個別指導	79.8%								
保育者の研修	44.4%								
加配	64.4%								
環境整備	54.1%								
集団内での配慮	82.5%								
その他	40.0%	P<0.005							
人との関わりについて	専門機関への相談	58.6%							
専門保育士への相談	54.5%								
保護者への支援	79.2%								
個別指導	76.6%								
保育者の研修	47.3%								
加配	65.9%								
環境整備	56.3%								
集団内での配慮	80.8%								
その他	50.0%	P<0.005							
食について	専門機関への相談	59.8%							
専門保育士への相談	54.5%								
保護者への支援	81.2%								
個別指導	77.2%								
保育者の研修	45.9%								
加配	62.5%								
環境整備	58.5%								
集団内での配慮	80.3%								
その他	77.8%	P<0.005							
言葉について	専門機関への相談	65.6%							
専門保育士への相談	60.3%								
保護者への支援	78.9%								
個別指導	76.9%								
保育者の研修	48.2%								
加配	68.2%								
環境整備	56.3%								
集団内での配慮	81.2%								
その他	50.0%	P<0.005							
障害・発達等について	専門機関への相談	64.9%							
専門保育士への相談	57.1%								
保護者への支援	77.5%								
個別指導	73.5%	P<0.025							
保育者の研修	44.5%								
加配	66.7%								
環境整備	59.1%								
集団内での配慮	76.4%								
その他	50.0%	P<0.005							
家族の養育態度について	専門機関への相談	52.8%	P<0.005						
専門保育士への相談	59.5%								
保護者への支援	82.4%								
個別指導	74.0%	P<0.025							
保育者の研修	30.5%	P<0.005							
加配	61.7%	P<0.05							
環境整備	52.7%								
集団内での配慮	80.5%								
その他	75.0%	P<0.025							
基本的な生活習慣について	専門機関への相談	61.6%							
専門保育士への相談	43.6%	P<0.005							
保護者への支援	82.6%								
個別指導	73.1%	P<0.025							
保育者の研修	41.4%								
加配	58.6%	P<0.005							
環境整備	46.8%	P<0.005							
集団内での配慮	81.8%								
その他	71.4%								
その他	専門機関への相談	60.0%							
専門保育士への相談	36.4%	P<0.005							
保護者への支援	78.6%								
個別指導	55.6%	P<0.005							
保育者の研修	0.0%	P<0.005							
加配	28.6%	P<0.005							
環境整備	28.6%	P<0.005							
集団内での配慮	73.9%								
その他	40.0%	P<0.005							
全ての気になる点について	専門機関への相談	61.0%							
専門保育士への相談	58.9%								
保護者への支援	82.0%								
個別指導	79.7%								
保育者の研修	44.4%								
加配	67.4%								
環境整備	56.9%								
集団内での配慮	80.8%								
その他	68.4%								

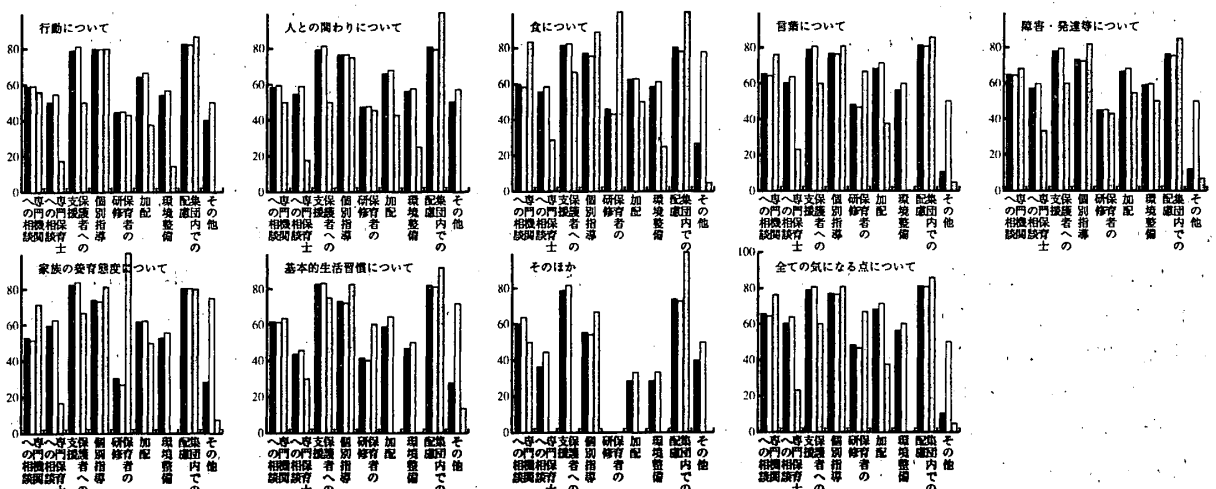


図2:「気になる点」別に見た特別な支援・配慮の実施率(全体的な実施率との比較)